

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
支 社 長 堀 圭一

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 占冠地区下部工工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	鉄筋Yについて、①シム川橋A1は15.732tとなっていまが、設計図では15.696tとなっています。同様に、①シム川橋A2は30.330tとなっていまが、設計図では30.258tとなっています。 正しい数量をご教示願います。	鉄筋Yの数量は下記が正となります。 シム川橋A1橋台：15.732t シム川橋A2橋台：30.330t 後日、設計図書を訂正いたします。
2	特殊部A1及びA7、B1及びB2、C1及びC2、D1及びD3、E1及びE2について、土留工（自立式及びアンカー式（残置式アンカー））の設置（一部撤去）となっていますが、裏込めおよび埋戻しの施工の大部分は本工事ではなく別途工事で施工するものとなっております。今回工事における土留工の一部撤去はどの範囲を想定しているのでしょうか。 また腹起し材は、中古品とリース品のどちらを想定しているのでしょうか。 ご教示願います。	撤去範囲については、設計図に示すとおりお考え下さい。 また、腹起し材の材料区分は特記仕様書26-2-2 (3) に示す内容を想定しています。
3	残置式アンカーのグラウト充填はアンカ一定着部、削孔全長、注入長（設計図記載）のいずれを想定しているのでしょうか。 ご教示願います。	残置式アンカーのグラウト充填はアンカ一定着部を想定しています。

番号	質問事項	回 答
4	<p>鋼矢板引抜について、4/28付の質問番号1の回答にて「油圧バイブルハンマ工法を想定」との回答がありましたが、この場合、作業荷重と作業半径を考慮すると200t級のクローラクレーン又はオールテレンクレーンが必要となると思われますが、割掛対象表には計上されていません。使用機械についてはヤード整備を含めて別途協議となるのでしょうか。</p> <p>ご教示願います。</p>	<p>設計変更ガイドラインⅢ. 1.3 (2) のとおり、条件変更がない場合の割掛項目の数量増減や使用材料・施工方法等の変更は変更協議の対象となりません。</p>
5	<p>裏込め工A1及びB1で購入材は使用した構造物裏込めと記載がありますが、購入材は、土砂、切込み碎石、再生碎石のいずれを想定しているのでしょうか。</p> <p>ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画でお考えください。</p> <p>なお、裏込めは再生材の適用対象外となります。</p>
6	<p>足場工費は橋梁下部工の施工に必要な足場工に要するもののみとなっていまします。よって、残置式アンカー施工時に使用する削孔機用の足場計上はなしと考えてよろしいでしょう。</p> <p>ご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
7	<p>設計図書85/98及び95/98の継手配置図において鋼矢板の頭部補強を溶接にて行うことになっていますが、その費用は構造物掘削特殊部A1及びA7でそれぞれ計上すると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>ご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
8	<p>スクラップの場内運搬費用は共通仮設費の運搬費に率計上されていると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>ご教示願います。</p>	<p>スクラップに関連する費用については、特記仕様書28-1 (9) に記載のとおりお考え下さい。</p>

番号	質問事項	回 答
9	<p>撤去で発生したC-40は、占冠地区盛土場へ運搬・敷均しと考えてよろしいでしょうか。 ご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
10	<p>使用する材料について、数量内訳ではVP（Φ50）となっていますが、設計図ではVP <math>\phi</math> 75となっています。 どちらが正しいかご教示願います。</p>	<p>VP <math>\phi</math> 75が正となります。 後日、設計図書を訂正いたします。</p>
11	<p>仮囲いは設置のみと考えてよろしいでしょうか。 その際、材料は中古購入となるでしょうか。 ご教示願います。</p>	<p>設置撤去と想定しています。 なお、材料はリース品を想定しています。</p>